

会計名			市民相談事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	市民安全課		
款	項	目					担当係	市民相談係		
2	1	15								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			主たる内容	市民相談に関する各種事業を行う。 (一般相談、弁護士相談、交通事故相談、登記・境界・測量・許認可等相談、年金・労務相談、消費生活相談、司法書士相談、労働相談、行政相談、行政手続相談)			
		基本施策	市民生活							
		施策の内容	市民相談の充実							
	目的	市で相談サービスを行うことにより、誰もが身近で相談できる機会を増やして事態の深刻化を防止し、市民の生活問題の解決を図る。								
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市民		事業期間	~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 計画 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		相談件数	1,517件	相談件数	1,558件	相談件数	1,289件	弁護士(週2回+月2回)3人		
内訳			内訳		内訳		市民相談員 2人			
一般相談		691件	一般相談	759件	一般相談	439件	交通事故相談員 1人			
弁護士相談		534件	弁護士相談	524件	弁護士相談	545件	消費生活相談員 1人			
交通事故相談		136件	交通事故相談	124件	交通事故相談	114件				
登記境界相談		24件	登記境界相談	18件	登記境界相談	23件				
年金労務相談		6件	年金労務相談	5件	年金労務相談	5件				
消費生活相談		43件	消費生活相談	48件	消費生活相談	88件				
司法書士相談		78件	司法書士相談	70件	司法書士相談	61件				
その他相談	5件	その他相談	10件	その他相談	14件					
成果 (できたこと)	市民の悩み解消と諸問題の早期解決の促進を図り、市民サービスの向上ができた。 弁護士相談の予約が多いため、より多くの市民が早期かつ公平に相談できるように、弁護士相談回数を増やしたことから、相談体制の充実ができた。									
課題 (できなかったこと)	消費生活相談を行っている県民生活プラザが、先々高度な相談のみに特化する予定をしていることから、各市では消費生活相談の体制強化が必要とされる傾向にあり、現在週2回行っている消費生活相談の回数を増やしていくことが課題である。									
O 計画 V	指標名称(単位)				実績値		目標値			
					22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
	活動指標	専門の相談員による相談可能回数の増加(回)			1,137	1,135	1,180	1,364	1,400	
成果指標	各種相談に対する市民の満足度(%)			—	—	80.7	100.0	100.0		
他市との比較検証	弁護士による法律相談や交通事故相談については、開催回数は近隣市に比べて多いため、他市よりは市民サービスの充実が図れている。 相談業務の種類は近隣市の中でも多い方であるため、比較的充実している。									
C 事業 コスト V	単位:千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳			
	事業費①		9,455	9,452	9,402	11,700	合計	9,401,989円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	賃金	5,334,842円		
		一般財源	9,455	9,452	9,402	11,700	報償費	663,100円		
	職員人件費②		7,248	7,896	8,305	5,660	旅費	14,940円		
	総事業費(①+②)		16,703	17,348	17,707	17,360	需用費	83,676円		
	建設事業	全体事業費(単位:千円)		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0								
26年度以降の事業費見込		0								

会計名			外国人相談事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					担当係	市民相談係	
2	1	15							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	市民生活						
		施策の内容	市民相談の充実						
	目的	在住外国人の生活相談及び生活問題に対応するため、外国人相談員の常駐化及び窓口における諸手続きの通訳業務の充実を図る。	主たる内容	○ポルトガル語（月～金曜日） 2人 ○タガログ語（月・水・金曜日）1人 ○中国語（火・水・木曜日） 1人					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民	事業期間	平成13年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		・外国人相談員数 2人 ・相談件数が3,797件ありました		・外国人相談員数 4人 ・相談件数が4,013件ありました		・外国人相談員数 4人 ・相談件数が5,813件ありました		・外国人相談員数 4人	
成果 (できたこと)		タガログ語及び中国語の外国人相談員の市民への周知がされてきて、相談件数が1,800件増加し、外国人相談サービスの充実が図れた。							
課題 (できなかったこと)		現在、市内在住の外国人のうち、中国人がフィリピン人に次いで人口が2番目に多い中、中国語通訳による生活相談件数の伸びが低いため、中国人利用者の多い公共施設等へのPRチラシ配置など、有効な周知を行うことで相談事業の充実を図ることが課題である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		外国人相談員数（人）		2	4	4	4	4	
成果指標		外国人相談員に対する外国人満足度（％）		—	—	96.4	100.0	100.0	
他市との比較検証		近隣市に比べて、外国語の種類が多い通訳業務をしているため、市民サービスの充実が図られている。							
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		6,408	7,554	8,514	10,115	合計	8,513,947 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	貸金	8,513,947 円	
		一般財源	6,408	7,554	8,514	10,115			
	職員人件費 ②		3,987	4,666	5,107	3,427			
	総事業費 (①+②)		10,395	12,220	13,621	13,542			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			消費者生活対策事業				担当部	市民活動部
一般会計							担当課	市民安全課
款	項	目					担当係	市民相談係
2	1	15						
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	市民生活					
		施策の内容	消費者の保護・育成					
	目的	消費者保護の充実を図る。			主たる内容	各種講座の開催、消費者団体の育成		
		位置づけ						
	関連計画							
	根拠法令	消費者保護基本法						
	対象者	市民及びばかりや消費者生活学校		事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画
・年4回の消費生活講座を開催した参加者 178人 ・消費者団体を支援した		・年4回の消費生活講座を開催した参加者 200人 ・消費者団体を支援した		・年4回の消費生活講座を開催した参加者 185人 ・消費者団体を支援した		・年5回の消費生活講座を開催する参加者 220人 ・消費者団体を支援する		
成果 (できたこと)		消費生活講座の開催により市民に「食の安心・安全」及び「消費者被害に遭わないための知識」を習得させることができた。						
課題 (できなかったこと)		今後も消費生活講座の受講者数を増加させるための講座内容等を検討する。						
指標名称(単位)			実績値			目標値		
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標		消費生活講座開催回数(回)		4	4	4	5	6
成果指標		振り込め詐欺や悪質商法などに気をつけている市民の割合(%)		94.4	—	94.0	95.0	96.0
他市との比較検証								
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳
	事業費 ①		493	451	385	455	合計	385,185 円
	財源	特定財源	89	86	86	82	旅費	3,320 円
		一般財源	404	365	299	373	需用費	69,957 円
	職員人件費 ②		3,262	3,230	3,381	2,343	委託料	36,156 円
	総事業費(①+②)		3,755	3,681	3,766	2,798	使用料及び賃借料	101,500 円
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称		
24年度迄の累積事業費		0		市長村権限移譲交付金(県)				
26年度以降の事業費見込		0						

会計名		人権擁護対策事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	市民安全課		
款	項					目	担当係	市民相談係	
2	1					15			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	市民生活						
		施策の内容	市民相談の充実						
	目的	国民の基本的人権を擁護し、自由人権思想の普及高揚を図る。		主たる内容	人権擁護のための各種事業を行う。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	人権擁護委員法						
		対象者	市民	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		6/1人権擁護委員の日特設相談 8月刈谷わんさか祭りで啓発をした 11月～12月人権紙芝居を実施した(市内10保育園) 12月人権週間特設相談及び店頭啓発をした ※心配ごと相談をした		6/1人権擁護委員の日特設相談 8月刈谷わんさか祭りで啓発をした 11月～2月人権紙芝居を実施した(市内10保育園及び市内16幼稚園) 12月人権週間特設相談及び店頭啓発をした ※心配ごと相談をした		6/1人権擁護委員の日特設相談 8月刈谷わんさか祭りで啓発をした 10月福祉健康フェスティバルで啓発をした 11月～2月人権紙芝居を実施した(市内10保育園及び市内16幼稚園) 12月人権週間特設相談及び店頭啓発をした		6/1人権擁護委員の日特設相談 8月刈谷わんさか祭りで啓発をする 10月福祉健康フェスティバルで啓発をする 11月～2月人権紙芝居を実施する(市内10保育園及び市内16幼稚園) 12月人権週間特設相談及び店頭啓発をする	
成果 (できたこと)		自由人権思想の普及高揚に努めることができた。							
課題 (できなかったこと)		現在就学児童(5歳児)への啓発活動を中心に行っておりますが、一般的に人権擁護委員という認知度が低くより人権擁護委員の認知度を高めていくことが課題となる。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動 指標		人権擁護委員数(人)		8	10	9	10	10	
成果 指標		人権擁護委員の認知度(%)		-	-	42			
他市との 比較検証		人権擁護委員による幼稚園・保育園を対象とした人権教育は、碧海5市の中でも刈谷市と知立市だけであり啓発の充実が図られている。							
C 事業 コスト V		単位:千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		376	405	449	506	合計	449,006 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	報償費	225,000 円	
		一般財源	376	405	449	506	旅費	3,320 円	
	職員人件費 ②		2,175	2,871	3,084	3,161	需用費	95,286 円	
	総事業費(①+②)		2,551	3,276	3,533	3,667	役務費	5,000 円	
	建設 事業	全体事業費(単位:千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			消費者行政活性化事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	市民安全課		
款	項	目					担当係	市民相談係		
2	1	15								
PLAN概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			主たる内容	消費者からの相談対応の充実を図るため、記録及び情報を得る。消費者の被害防止のために、講座等の教材図書を購入・パンフレットの作成及び啓発物品の作成を行う。			
		基本施策	市民生活							
		施策の内容	情報提供の充実							
	目的	消費者保護の充実を図る。				主たる内容	消費者からの相談対応の充実を図るため、記録及び情報を得る。消費者の被害防止のために、講座等の教材図書を購入・パンフレットの作成及び啓発物品の作成を行う。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	消費者安全法・消費者活性化事業運営要領							
		対象者	市民		事業期間	平成21年度～平成25年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O A V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		・消費生活講座受講の際に資料を配布した。(暮らしの豆知識) ・市内4市民センターにパンフレット3種類及び啓発物品を配置し、相談窓口の周知を図った。 ・消費生活相談員の資質向上のため、研修参加旅費を支援した。		・消費生活講座受講の際に資料を配布した。(暮らしの豆知識) ・市内4市民センターにパンフレットを配置し、相談窓口のPRをした。 ・消費生活相談員の資質向上のため、研修参加旅費を支援した。		・消費生活講座受講の際に資料を配布した。(暮らしの豆知識) ・相談窓口を記載した啓発物等を全戸配布し、相談窓口のPRをした。 ・消費生活相談員の資質向上のため、研修参加旅費を支援した。		・消費生活講座受講の際に資料を配布する。(暮らしの豆知識) ・パンフレットなどを市内4市民センター等に配置したり、イベント会場で配布して相談窓口のPRをする。 ・消費生活相談員の資質向上のため、研修参加旅費を支援する。		
成果 (できたこと)		相談窓口の周知や相談員の研修参加により、多くの相談者の保護や相談員の資質向上を図ることができた。								
課題 (できなかったこと)		消費生活出前講座などの機会に、悪質商法の手口と対策等を掲載した啓発物を活用して、悪質商法対策の周知を図ることにより、消費者被害の未然防止に取り組むことが課題である。								
指標名称(単位)		実績値			目標値					
成果指標	振り込め詐欺や悪質商法などに気をつけている市民の割合(%)	22年度	23年度	24年度	25年度	27年度				
指標		94.4	—	94.0	95.0	96.0				
他市との比較検証	碧海五市のうち消費生活相談の相談窓口を記載した啓発物品を全戸配布を行ったのは、刈谷市と高浜市だけであり、近隣市よりも市民への相談窓口の周知の充実が図られている。									
C 事業 コスト	単位：千円	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳				
	事業費①	654	360	4,971	0	合計	4,971,203円			
	財源	特定財源	654	360	4,971	0	旅費	16,600円		
		一般財源	0	0	0	0	需用費	4,934,580円		
	職員人件費②	725	718	771	0	委託料	20,023円			
	総事業費(①+②)	1,379	1,078	5,742	0					
建設事業	全体事業費(単位：千円)	0			24年度特定財源名称					
	24年度迄の累積事業費	0			消費者行政活性化基金事業費補助金(県)					
	26年度以降の事業費見込	0								

会計名		防犯推進事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	市民安全課		
款	項					目	担当係	交通防犯係	
2	1	15							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	防犯・交通安全意識の高揚						
	目的	防犯啓発活動及び防犯活動の支援をすることにより、防犯事業の推進を図る。		主たる内容	○青色防犯パトロール車の管理 ○刈谷市地域安全パトロール隊と協力した防犯啓発活動 ○刈谷防犯協会連合会への補助を通して、防犯活動の推進、青少年の健全育成、暴力等の追放				
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令	刈谷市地域安全パトロール車両貸出事業実施要綱						
	対象者	市民、刈谷防犯協会連合会			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		・刈谷市地域安全パトロール隊隊員数 1,988人 ・青色防犯パトロール車の利用回数 336回 ・刈谷地域安全市民大会2010の開催 ・防犯キャンペーン 振り込め詐欺防止 自転車ツーロック		・刈谷市地域安全パトロール隊隊員数 2,081人 ・青色防犯パトロール車の利用回数 400回 ・防犯キャンペーン 振り込め詐欺防止 自転車ツーロック		・刈谷市地域安全パトロール隊隊員数 2,158人 ・青色防犯パトロール車の利用回数 664回 ・防犯キャンペーン 自転車ツーロック 自動車関連窃盗抑止		・刈谷市地域安全パトロール隊隊員数 2,180人 ・青色防犯パトロール車の利用回数 600回 ・防犯キャンペーン 振り込め詐欺防止 自転車ツーロック	
成果 (できたこと)		刈谷市地域安全パトロール隊が22地区2,081名から2,158名に増加した。自転車ツーロックキャンペーンは、刈谷市地域安全パトロール隊や防犯ボランティアとともに駅前で行った。							
課題 (できなかったこと)		犯罪件数減少のため、地域、企業、学校と協力した防犯活動（侵入盗、自動車関連窃盗、振り込め詐欺、自転車盗の抑止）を定期的に行っていく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
成果指標	刈谷市地域安全パトロール隊員数(人)		1,988	2,081	2,158	2,180	2,200		
成果指標	犯罪や事故への不安がなく安心して外出できると思う市民の割合(%)		49.7	—	51.4	52.0	55.0		
他市との比較検証	刑法犯認知件数（件）（平成24年中） 岡崎市 3,964件 碧南市 792件 刈谷市 2,239件 豊田市 4,410件 安城市 2,639件 知立市 1,061件 高浜市 579件								
C 事業コスト	単位：千円	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳			
	事業費 ①	6,396	6,398	5,256	7,450	合計	5,255,770 円		
	財源	特定財源	0	0	0	70	旅費	4,980 円	
		一般財源	6,396	6,398	5,256	7,380	需用費	469,420 円	
	職員人件費 ②	1,812	1,436	1,415	2,211	役務費	1,747,370 円		
	総事業費 (①+②)	8,208	7,834	6,671	9,661	委託料	1,000,000 円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		24年度特定財源名称			負担金、補助及び 交付金	2,004,000 円	
	24年度迄の累積事業費	0					公課費	30,000 円	
	26年度以降の事業費見込	0							

会計名			地域防犯活動推進事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	市民安全課		
款	項	目					担当係	交通防犯係		
2	1	15								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	防犯・交通安全							
		施策の内容	地域の安全活動の推進							
	目的	地域防犯活動の支援をすることにより、自主防犯活動の充実や、防犯意識の高揚を図り犯罪の少ない安全・安心なまちづくりを実現する。			主たる内容	自治会が実施する防犯意識の啓発活動や自主防犯活動に対し、地域防犯活動推進事業補助金を交付する。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市地域防犯活動推進事業補助金交付要綱							
		対象者	自治会		事業期間	平成16年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		22地区への補助金の交付した		22地区への補助金の交付した		22地区への補助金の交付した		22地区への補助金の交付する		
成果 (できたこと)		自主防犯活動により、犯罪発生件数（刑法犯）が平成23年は2,434件だったが、平成24年は2,239件と8%減少した。パトロール隊長会議を開催し、各地区パトロール隊の意見交換等をおこなった								
課題 (できなかったこと)		地区単位によるタイムリーな犯罪発生状況の提供。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
成果 指標		刑法犯罪件数（件）			2,686	2,434	2,239	2,200	2,000	
成果 指標		犯罪や事故への不安がなく安心して外出できると思う市民の割合（%）			49.7	—	51.4	52.0	55.0	
他市との 比較検証		刑法犯認知件数（件）（平成24年中） 岡崎市 3,964件 碧南市 792件 刈谷市 2,239件 豊田市 4,410件 安城市 2,639件 知立市 1,061件 高浜市 579件								
C 事業 コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳		
	事業費 ①		1,632	2,080	2,090	2,110	合計 2,090,000 円			
	財 源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 2,090,000 円			
		一般財源	1,632	2,080	2,090	2,110				
	職員人件費 ②		1,087	790	354	1,842				
	総事業費 (①+②)		2,719	2,870	2,444	3,952				
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0								
26年度以降の事業費見込		0								

会計名			防犯灯管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	市民安全課		
款	項	目					担当係	交通防犯係		
2	1	15								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	防犯・交通安全							
		施策の内容	地域の安全性の強化							
	目的	設置した防犯灯の維持管理をすることにより、刈谷市内の街頭犯罪の抑止を図る。				主たる内容	防犯灯管理に係る修繕及び電気料			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市民			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
電気料		19,121千円	電気料	22,019千円	電気料	22,162千円	電気料	24,550千円		
修繕料		13,593千円	修繕料	18,388千円	修繕料	8,216千円	修繕料	10,939千円		
成果 (できたこと)		防犯灯の適正管理をおこなった。								
課題 (できなかったこと)										
指標名称(単位)					実績値			目標値		
					22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標		防犯灯設置累計数(基)				7,754	7,791	7,834	7,884	7,984
成果指標		街頭犯罪の件数(件)				1,188	1,044	957	900	800
他市との比較検証		刈谷市 人口146千人 面積50km ²		防犯灯7,834灯		碧南市 人口72千人 面積36km ²		防犯灯3,081灯		
	安城市 人口182千人 面積86km ²		防犯灯6,056灯		知立市 人口70千人 面積16km ²		防犯灯4,071灯			
	高浜市 人口45千人 面積13km ²		防犯灯2,182灯		(平成24年度末)					
C 事業コスト	単位:千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳			
	事業費①		32,715	36,318	30,377	35,489	合計	30,377,072円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	30,377,072円		
		一般財源	32,715	36,318	30,377	35,489				
	職員人件費②		1,812	431	707	3,316				
	総事業費(①+②)		34,527	36,749	31,084	38,805				
	建設事業	全体事業費(単位:千円)		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0								
26年度以降の事業費見込		0								

会計名			防犯灯設置事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					担当係	交通防犯係	
2	1	15							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	防犯灯を設置することにより、刈谷市内の街頭犯罪等の抑止を図る。				主たる内容	地区からの要望が上げられた箇所及び市内各地の犯罪発生度の高い箇所に防犯灯を設置する。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		防犯灯の設置 49灯 累計 7,754灯		防犯灯の設置 37灯 累計 7,791灯		防犯灯の設置 43灯 累計 7,834灯		防犯灯の設置 50灯 累計 7,884灯	
成果 (できたこと)		・第6次総合計画で平成24年度に目標値8,500灯 平成24年度末7,834灯 達成率92% ・街頭犯罪(ひったくり、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗、部品ねらい、車上ねらい、自販機ねらい、恐喝)が、平成23年は1,044件であったが、平成24年は957件と8%減少した。 ・維持管理費及び消費電力の低減のため、LED防犯灯を導入した。							
課題 (できなかったこと)		・防犯灯の設置灯数と犯罪発生率の相関が短期間では取り難い ・防犯灯の設置増加に伴い維持管理費(電気料・修繕料)が増え続けている							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標		防犯灯設置累計数(基)			7,754	7,791	7,834	7,884	7,984
成果指標		街頭犯罪件数(件)			1,188	1,044	957	900	800
他市との比較検証		刈谷市 人口146千人 面積50km ²		防犯灯7,834灯		碧南市 人口72千人 面積36km ²		防犯灯3,081灯	
		安城市 人口182千人 面積86km ²		防犯灯6,056灯		知立市 人口70千人 面積16km ²		防犯灯4,071灯	
	高浜市 人口45千人 面積13km ²		防犯灯2,182灯		(平成24年度末)				
C 事業コスト	単位:千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳		
	事業費①		1,652	1,045	1,364	1,500	合計	1,364,160円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	1,364,160円	
		一般財源	1,652	1,045	1,364	1,500			
	職員人件費②		1,087	790	1,061	1,474			
	総事業費(①+②)		2,739	1,835	2,425	2,974			
	建設事業	全体事業費(単位:千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			防犯灯LED化事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					担当係	交通防犯係	
2	1	15							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	低炭素社会						
		施策の内容	エネルギーの有効利用						
	目的	防犯灯を蛍光灯からLEDに取替ることにより、省エネルギーで環境に配慮するとともに、電気料や修繕料の削減を図る。			主たる内容	既設防犯灯を蛍光灯からLEDへ取替を行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民	事業期間	平成24年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
						LED取替 379基		LED取替 520基	
成果 (できたこと)		既設防犯灯の不具合や設置の古いものから、蛍光灯からLEDに交換することで消費電力の削減ができた。							
課題 (できなかったこと)		効率のよい交換方法及び、電気料の燃料費調整額高騰により維持費の削減が見えにくくなった。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標		LED防犯灯への取替数(基)			—	—	379	520	520
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	8,793	12,000	合計	8,792,800 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	8,792,800 円	
		一般財源	0	0	8,793	12,000			
	職員人件費 ②		0	0	1,061	1,105			
	総事業費(①+②)		0	0	9,854	13,105			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
		24年度迄の累積事業費		0					
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			地域防犯夜間巡回委託事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					担当係	交通防犯係	
2	1	15							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全活動の推進						
	目的	市内全域を夜間巡回することで、多発する住宅対象侵入盗や自動車関連窃盗の発生を抑制する。	主たる内容	自主防犯活動が困難な夜間（22時から翌朝4時）の時間帯に、警備員により青色回転灯を搭載した車両を巡回させる。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	市民	事業期間	平成22年度～					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		夜間巡回 毎日3組6名をした		夜間巡回 毎日3組6名をした		夜間巡回 毎日2組4名をした		夜間巡回 毎日1組2名をする	
成果 (できたこと)		住民の目が行き届きにくい夜間に、青色回転灯を装備した車両で巡回することにより、犯罪発生抑制を図ることができた。							
課題 (できなかったこと)		地域住民、警察と連携することで、更なる犯罪発生抑制を図る。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標		街頭犯罪の件数（件）			1,188	1,044	957	900	800
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		10,950	16,724	11,421	6,000	合計	11,420,640 円	
	財源	特定財源	10,950	16,724	0	0	委託料	11,420,640 円	
		一般財源	0	0	11,421	6,000			
	職員人件費 ②		725	790	707	1,474			
	総事業費 (①+②)		11,675	17,514	12,128	7,474			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			防犯カメラ設置事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					担当係	交通防犯係	
2	1	15							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	自転車盗難抑止のため、駅前の市営駐輪場に防犯カメラをする。			主たる内容	富士松駅、刈谷市駅、小垣江駅、野田新町駅の自転車駐輪場に防犯カメラを設置する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		駐輪場に防犯カメラを設置した。 一ツ木駅 東刈谷駅 逢妻駅		_____		駐輪場に防犯カメラを設置した。 富士松駅 刈谷市駅 小垣江駅 野田新町駅		_____	
成果 (できたこと)		全駅の駐輪場に防犯カメラを設置した。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
成果 指標		自転車盗発生件数(件)			421	359	343	330	310
指標									
他市との 比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		3,758	0	4,463	0	合計	4,462,500 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	4,462,500 円	
		一般財源	3,758	0	4,463	0			
	職員人件費 ②		725	0	354	0			
	総事業費(①+②)		4,483	0	4,817	0			
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)			0	24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費			0						
26年度以降の事業費見込			0						

会計名			防犯カメラ設置補助事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					担当係	交通防犯係	
2	1	15							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	防犯カメラの普及を促進することで、自動車関連窃盗の発生を抑止する。			主たる内容	集合住宅の駐車場へ設置する防犯カメラ及び録画機器、モニター購入費用を補助する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市防犯カメラ等設置補助金交付要綱						
		対象者	市民			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		—		—		補助件数 2件 防犯カメラ設置台数 6台		補助件数 10件 防犯カメラ設置台数 20台	
成果 (できたこと)		防犯カメラ新設に対する補助について、申請、交付決定、交付まで迅速にできた。							
課題 (できなかったこと)		補助制度の周知。							
指標名称 (単位)				実績値			目標値		
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標		防犯カメラ設置台数 (台)			—	—	6	20	—
活動指標		自動車関連窃盗件数 (件)			629	547	519	500	500
他市との比較検証		自動車関連窃盗認知件数 (件) (平成24年中) 岡崎市 769件 碧南市 194件 刈谷市 519件 豊田市 1,114件 安城市 532件 知立市 270件 高浜市 96件							
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	1,000	5,000	合計 1,000,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 1,000,000 円		
		一般財源	0	0	1,000	5,000			
	職員人件費 ②		0	0	354	1,474			
	総事業費 (①+②)		0	0	1,354	6,474			
	建設事業	全体事業費 (単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			町名表示板設置管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					担当係	交通防犯係	
2	1	15							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全活動の推進						
	目的	町名表示板の管理をおこなうことにより、町名を明らかにし、住所探索の利便性の向上を図る。			主たる内容	町名表示板取替修繕			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		片面用2箇所撤去をした 両面用6箇所撤去をした 片面用6箇所移設をした		片面用23箇所取替をした 両面用5箇所取替をした 片面用6箇所撤去をした		片面用6箇所取替をした 両面用15箇所取替をした		片面用9箇所取替をする 両面用12箇所取替をする	
成果 (できたこと)		劣化したものの撤去及び電柱移設にかかる町名表示板の移設をおこなった ステンレスバンドの取替をおこなった							
課題 (できなかったこと)									
指標名称 (単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動 指標		取替等箇所数 (箇所)			14	34	21	21	20
指標									
他市との 比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	277	299	325	合計	299,250 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	需用費	299,250 円	
		一般財源	0	277	299	325			
	職員人件費 ②		725	790	354	737			
	総事業費 (①+②)		725	1,067	653	1,062			
	建設 事業	全体事業費 (単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			放置自転車等整理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					担当係	交通防犯係	
2	1	16							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	道路等に放置されている自転車等を撤去し、通行の安全と良好な都市環境を確保する。また、駐輪場における自転車の整理や駐輪指導により、駐輪環境の保全を図る。	主たる内容	駐輪場内の整理指導委託 放置自転車等の撤去委託 返還作業の委託 自転車整理指導委託 放置自転車移動委託					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市自転車等の放置防止に関する条例						
		対象者	市民	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		撤去台数	1,196台	撤去台数	1,190台	撤去台数	1,190台	撤去台数	1,000台
返還台数		86台	返還台数	115台	返還台数	129台	返還台数	100台	
成果 (できたこと)		駐輪場を整理することで駐輪場の美化と効率的な駐輪場の利用を促進できた。また、放置自転車撤去により都市環境美化が図れた。 所有者照会を迅速に行い、引取期間を長く設けることで返還台数の増加に繋がった。							
課題 (できなかったこと)		放置自転車の移動、返還、処分を行う。年間約1,000件以上の処理を行う。エコ意識や健康志向の高まりによる自転車利用者増加に伴い、放置自転車件数の増加も予想される。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		撤去台数における返還台数の割合(%)		7.19	9.6	10.8	10.0	10.0	
成果指標		放置自転車の撤去台数(台)		1,196	1,190	1,190	1,000	1,000	
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳		
	事業費①		25,579	25,407	26,406	32,967	合計	26,405,991円	
	財源	特定財源	71	100	117	100	需用費	423,380円	
		一般財源	25,508	25,307	26,289	32,867	役務費	22,760円	
	職員人件費②		1,812	790	1,061	1,842	委託料	25,959,851円	
	総事業費(①+②)		27,391	26,197	27,467	34,809			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0		放置自転車異動費収入					
26年度以降の事業費見込		0							

会計名		交通安全施設等管理システム事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	市民安全課		
款	項					目	担当係	交通防犯係	
2	1					16			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	交通安全施設や防犯灯の現地調査及びデータ入力を行うことで、市民ニーズへの対応と設備修理等の即応性を図り、的確な管理に努める。		主たる内容	交通安全施設・防犯灯管理システムの開発及びデータ更新（写真等の入れ替え）等の保守管理、住宅地図の入れ替え				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		システムを更新した。 システムを保守管理した。		システムを更新した。 システムを保守管理した。		システムを更新した。 システムを保守管理した。		システムを更新する。 システムを保守管理する。 システムを改良する。	
成果 (できたこと)		交通安全管理システムを活用することで、交通安全施設や防犯灯の設置、修繕に対して、市民からの通報、業者への依頼を迅速におこなうことができた。							
課題 (できなかったこと)		電柱等の管理していない物件の更新が難しいこと。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		データ更新件数（件）		289	172	156	150	150	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		1,452	1,452	1,452	4,509	合計 1,451,604 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料 1,375,500 円		
		一般財源	1,452	1,452	1,452	4,509	使用料及び賃借料 76,104 円		
	職員人件費 ②		1,812	431	707	1,474			
	総事業費 (①+②)		3,264	1,883	2,159	5,983			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			交通安全啓発事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	市民安全課		
款	項	目					担当係	交通防犯係		
2	1	16								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	防犯・交通安全							
		施策の内容	防犯・交通安全意識の高揚							
	目的	市民参加型の交通安全啓発活動を企画し、実施することで参加者やドライバー等の交通安全意識高揚を図り、市内の交通事故、とりわけ交通死亡事故ゼロを目指す。			主たる内容	○交通安全啓発活動の実施 ・交通安全市民運動の実施 (4月、7月、9月、12月それぞれ10日間) 啓発品の企画、購入 ・セスナ機空中広報の実施 ○交通安全作品展の開催 ○交通安全ビデオ、DVDの貸出し				
	位置づけ	関連計画	第9次刈谷市交通安全計画							
		根拠法令	刈谷市交通安全条例							
		対象者	市民、市内在勤者、市内通学者			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 実績 計画V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		・交通安全市民運動を実施した ・交通安全作品展を開催した ・交通安全啓発活動を実施した ・運転免許自主返納支援事業を行った		・交通安全市民運動を実施した ・交通安全作品展を開催した ・交通安全啓発活動を実施した ・運転免許自主返納支援事業を行った		・交通安全市民運動を実施した ・交通安全作品展を開催した ・交通安全啓発活動を実施した ・運転免許自主返納支援事業を行った		・交通安全市民運動を実施する ・交通安全作品展を開催する ・交通安全啓発活動を実施する ・運転免許自主返納支援事業を行う		
成果 (できたこと)		家庭、地域、職域、教育関係機関の交通安全意識が高揚し、平成22年中、平成23年中、平成24年中には刈谷警察署管内の過去10年間の交通事故死者数の平均(7.1人)を下回ることができた。また、運転免許自主返納支援について通算400人目を達成することができた。								
課題 (できなかったこと)		交通安全市民運動期間中に実施する啓発活動では、交通安全の語呂合わせによる啓発品(生活必需品)を考案し、啓発活動の話題性や交通安全意識高揚を図っているが、惰性的になりつつあるため、より話題性のある啓発活動を企画実施する必要がある。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
成果指標		人口1,000人当たり人身事故数(件) ()内は県平均			7.4(6.9)	7.2(6.7)	6.9(6.7)	県平均以下		県平均以下
成果指標		交通事故死者数(人)			4	4	6	0	0	
他市との比較検証		(人口1,000人当たりの人身事故発生件数)								
		県平均	平成22年	平成23年	平成24年	知立市	平成22年	平成23年	平成24年	
	安城市	6.9件	6.7件	6.7件	6.3件	5.7件	5.8件			
		7.4件	6.9件	6.6件						
C 事業 コスト	単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳			
	事業費①		4,273	3,687	2,955	3,206	合計 2,955,085 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 980,744 円			
		一般財源	4,273	3,687	2,955	3,206	需用費 1,628,366 円			
	職員人件費②		1,087	1,795	2,122	1,842	役務費 168,000 円			
	総事業費(①+②)		5,360	5,482	5,077	5,048	備品購入費 177,975 円			
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0								
26年度以降の事業費見込		0								

会計名			イエローストップ運動推進事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					担当係	交通防犯係	
2	1	16							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	防犯・交通安全意識の高揚						
	目的	「一人ひとりが思いやり運転を実践すること」を理念として掲げるイエローストップ運動を展開し、交通死亡事故ゼロを目指す。	主たる内容	・啓発用消耗品費					
	位置づけ	関連計画	第9次刈谷市交通安全計画						
		根拠法令							
		対象者	市民、市内在勤者、市内通学者	事業期間	平成12年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		・交通安全啓発物を購入した		・交通安全啓発物を購入した		・交通安全啓発物を購入した		・交通安全啓発物を購入する	
成果 (できたこと)		イエローストップの標語がデザインされたBOXティッシュを3,500個作成し、「イエローストップ運動」を約3,000人に広報することができた。							
課題 (できなかったこと)		BOXティッシュを使った「イエローストップ運動」の広報を行い、交差点付近等の人身事故件数の抑止をさらに推進していく必要がある。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動 指標		交差点付近等の人身事故発生件数(件)			693	636	522	500	400
指標									
他市との 比較検証		交差点付近等の人身事故発生件数(件)(平成24年中) 碧南警察署管内(碧南市・高浜市) 347件 岡崎警察署管内(岡崎市・幸田町) 1,266件 安城警察署管内(安城市・知立市) 836件 豊田警察署管内(豊田市) 1,369件 西尾警察署管内(西尾市) 449件							
C 事業コスト		単位:千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費①		476	270	458	499	合計	457,800円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	需用費	457,800円	
		一般財源	476	270	458	499			
	職員人件費②		1,087	1,077	1,061	1,105			
	総事業費(①+②)		1,563	1,347	1,519	1,604			
	建設 事業	全体事業費(単位:千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名		自転車大会開催事業				担当部	市民活動部	
一般会計						担当課	市民安全課	
款	項					目	担当係	交通防犯係
2	1	16						
PLAN概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	防犯・交通安全					
		施策の内容	防犯・交通安全意識の高揚					
	目的	競技（実技走行と学科）を通じて参加者の交通ルール・マナーに対する関心を高めさせるとともに、自転車の安全な正しい乗り方の知識と技能の習得を図り、自転車の交通事故を防止する。			主たる内容		<ul style="list-style-type: none"> 交通安全子ども自転車大会を開催 交通安全高齢者自転車愛知県大会の予選会の開催 大会出場報償費 交通安全ブック購入費 自転車修繕 会場借上料 	
	位置づけ							
	関連計画							
	根拠法令							
	対象者	学童、高齢者			事業期間	～		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画
・第38回刈谷市交通安全子ども自転車大会を開催した 優勝 小垣江小学校 ・第45回交通安全子ども自転車愛知県大会に参加した 第3位 小垣江小学校 ・第7回交通安全高齢者自転車愛知県大会に参加した （築地老人クラブ一味会） 団体の部 第6位		・第39回刈谷市交通安全子ども自転車大会を開催した 優勝 小垣江小学校 ・第46回交通安全子ども自転車愛知県大会に参加した 準優勝 小垣江小学校 ・第8回交通安全高齢者自転車愛知県大会に参加した 団体の部 第4位		・第40回刈谷市交通安全子ども自転車大会を開催した 優勝 亀城小学校 双葉小学校 ・第47回交通安全子ども自転車愛知県大会に参加した 準優勝 双葉小学校 ・第9回交通安全高齢者自転車愛知県大会に参加した （半城土鶴亀会）		・第41回刈谷市交通安全子ども自転車大会を開催する ・第48回交通安全子ども自転車愛知県大会に参加する ・第10回交通安全高齢者自転車愛知県大会に参加する		
成果（できたこと）		第47回交通安全子ども自転車愛知県大会では、団体の部において双葉小学校が準優勝、亀城小学校が第6位、小垣江小学校が第7位、と入賞を果たすとともに、個人の部においても5人が入賞を果たし、自転車の正しい安全な乗り方及び交通ルールの習得をすることができた。また、第9回交通安全高齢者自転車愛知県大会では、半城土鶴亀会が48チーム中第7位の成績を収め、高齢者においても自転車の正しい安全な乗り方及び交通ルールの習得を図ることができた。						
課題（できなかったこと）		刈谷市交通安全子ども自転車大会の参加校及び参加者数を増やすことで、学童の交通安全意識高揚を図るとともに自転車の正しい安全な乗り方及び交通ルールの習得を図ることにより、とりわけ学童の自転車事故防止を推進する必要がある。						
指標名称（単位）		実績値			目標値			
		22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		子どもの死傷者数（人）	111	128	91	80	70	
成果指標		高齢者の死傷者数（人）	132	122	150	110	100	
他市との比較検証		子どもの死傷者数（人）（平成24年中）	高齢者の死傷者数（人）（平成24年中）					
碧南警察署管内（碧南市・高浜市） 54人		碧南警察署管内（碧南市・高浜市） 95人						
安城警察署管内（安城市・知立市） 118人		安城警察署管内（安城市・知立市） 187人						
西尾警察署管内（西尾市） 95人		西尾警察署管内（西尾市） 171人						
C 事業 コスト	単位：千円	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（予算）	24年度事業費内訳		
	事業費 ①	243	716	179	344	合計	179,461 円	
	財源	特定財源	0	500	0	0	報償費	105,141 円
		一般財源	243	216	179	344	需用費	55,020 円
	職員人件費 ②	1,087	1,795	1,061	1,105	使用料及び賃借料	19,300 円	
	総事業費（①+②）	1,330	2,511	1,240	1,449			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0						
26年度以降の事業費見込		0						

会計名			交通安全教室開催事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					担当係	交通防犯係	
2	1	16							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	防犯・交通安全意識の高揚						
	目的	各種交通安全教室を開催し、交通ルール・マナーを指導し、交通事故を防止する。各種交通安全教室の開催				主たる内容	・交通安全デキスト代 ・交通安全教室用ビデオ・DVD購入費		
	位置づけ	関連計画	第9次刈谷市交通安全計画						
		根拠法令							
		対象者	幼児、児童、高齢者			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO実績	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		・5歳児交通安全教室を開催した ・4歳児交通安全教室を開催した ・5歳児（入学前）交通安全教室を開催した ・自転車の正しい安全な乗り方教室を開催した ・交通安全教育用ビデオ、DVDを購入した（計3本）		・5歳児交通安全教室を開催した ・4歳児交通安全教室を開催した ・5歳児（入学前）交通安全教室を開催した ・自転車の正しい安全な乗り方教室を開催した ・交通安全教育用ビデオ、DVDを購入した（計3本）		・5歳児交通安全教室を開催した ・4歳児交通安全教室を開催した ・5歳児（入学前）交通安全教室を開催した ・自転車の正しい安全な乗り方教室を開催した ・交通安全教育用ビデオ、DVDを購入した（計3本）		・5歳児交通安全教室を開催する ・4歳児交通安全教室を開催する ・5歳児（入学前）交通安全教室を開催する ・自転車の正しい安全な乗り方教室を開催する ・交通安全教育用DVDを購入する（計3本）	
成果（できたこと）		幼児対象の交通安全教室を106回（約5,000人）、児童及び生徒対象の交通安全教室を24回（約2,000人）、高齢者対象の交通安全教室を18回（約500人）開催した。							
課題（できなかったこと）		交通安全教室受講者の効果測定等、継続的な交通安全教育を推進する必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		22年度	23年度	24年度	25年度	27年度			
活動指標	子どもの死傷者数（人）	111	128	91	80	70			
成果指標	高齢者の死傷者数（人）	132	122	150	110	100			
他市との比較検証	子どもの死傷者数（人）（平成24年中） 碧南警察署管内（碧南市・高浜市） 54人 安城警察署管内（安城市・知立市） 118人 西尾警察署管内（西尾市） 95人	高齢者の死傷者数（人）（平成24年中） 碧南警察署管内（碧南市・高浜市） 95人 安城警察署管内（安城市・知立市） 187人 西尾警察署管内（西尾市） 171人							
C事業コスト	単位：千円	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（予算）	24年度事業費内訳			
	事業費 ①	914	1,541	835	820	合計	834,852 円		
	財源	特定財源	0	1,000	0	0	需用費	666,852 円	
		一般財源	914	541	835	820	備品購入費	168,000 円	
	職員人件費 ②	1,087	1,795	1,415	1,474				
	総事業費（①+②）	2,001	3,336	2,250	2,294				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			交通指導員設置事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					担当係	交通防犯係	
2	1	16							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	学童の通学時の交通指導				主たる内容	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導員15人分の賃金 交通安全教育指導員1人分の賃金 制服等の貸与 備品の貸与と維持 講習会等参加のための旅費 		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	交通安全教育指導員設置要綱、交通指導員設置要綱						
		対象者	児童、市民			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 登下校時での指導した 交通安全教室での指導した 交通安全啓発活動への参加した 制服等の貸与した 自転車の貸与及び自転車の修繕した 		<ul style="list-style-type: none"> 登下校時での指導した 交通安全教室での指導した 交通安全啓発活動への参加した 制服等の貸与した 自転車の貸与及び自転車の修繕した 		<ul style="list-style-type: none"> 登下校時での指導した 交通安全教室での指導した 交通安全啓発活動への参加した 制服等の貸与した 自転車の貸与及び自転車の修繕した 		<ul style="list-style-type: none"> 登下校時での指導する 交通安全教室での指導する 交通安全啓発活動への参加する 制服等の貸与する 自転車の貸与及び自転車の修繕する 	
成果 (できたこと)		各小学校との連携を図り、児童の安全な登下校の確保に努めることができた。							
課題 (できなかったこと)		交通指導員の人材確保が困難である。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
活動指標		交通指導員の人数(交通安全教育指導員含む)(人)			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度
指標				15	15	15	16	16	
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳		
	事業費①		17,709	18,096	17,484	19,882	合計	17,484,417円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	賃金	16,342,206円	
		一般財源	17,709	18,096	17,484	19,882	旅費	3,320円	
	職員人件費②		1,812	1,795	1,415	2,211	需用費	1,115,641円	
	総事業費(①+②)		19,521	19,891	18,899	22,093	役務費	23,250円	
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名		地区駐車場設置補助事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	市民安全課		
款	項					目	担当係	交通防犯係	
2	1					16			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	駐車場を確保することで違法駐車を減らし住みよい環境を形成する。 駐車場難地区を対象に地区駐車場を設置するための費用を補助し、違法駐車の防止に努める。			主たる内容	補助事業に係る経費の10分の8以内の額とし、500万円または設置する駐車場に駐車可能な台数に25万円を乗じて得た額のいずれか少ない額を補助する。			
	位置づけ								
	関連計画 根拠法令								
	対象者	市民			事業期間	~			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		なし		なし		なし		1箇所	
成果 (できたこと)		平成18年以降申請なし。							
課題 (できなかったこと)		事業の周知。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標		補助申請件数(件)			0	0	0	1	1
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	0	5,000	合計 0円		
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	0	0	0	5,000			
	職員人件費②		0	0	0	368			
	総事業費(①+②)		0	0	0	5,368			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			交通安全施設管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					担当係	交通防犯係	
2	1	16							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	道路安全灯を始め、各種安全施設の万全な維持管理に努める。	主たる内容	道路安全灯管理に係る修繕及び電気料 道路反射鏡修繕					
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	市民	事業期間	~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		電気料	32,461千円	電気料	36,394千円	電気料	36,625千円	電気料	43,911千円
修繕料		5,465千円	修繕料	7,631千円	修繕料	6,900千円	修繕料	7,200千円	
成果 (できたこと)		道路安全灯の球切れ等及び道路反射鏡の傾きの不具合や破損を発見し修繕した。							
課題 (できなかったこと)		今後は支柱の破損等による倒壊の危険度の調査をおこなう。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		道路安全灯管理数(所管替え含む)(基)		2,713	2,715	2,716	2,726	2,746	
成果指標		道路反射鏡管理数(基)		1,859	1,890	1,915	1,955	1,995	
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳		
	事業費①		38,079	39,038	45,891	51,429	合計	45,890,940円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	45,801,270円	
		一般財源	38,079	39,038	45,891	51,429	原材料費	89,670円	
	職員人件費②		2,175	1,149	1,768	3,685			
	総事業費(①+②)		40,254	40,187	47,659	55,114			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
		24年度迄の累積事業費		0					
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			交通安全施設整備事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	市民安全課	
款	項	目					担当係	交通防犯係	
2	1	16							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防犯・交通安全						
		施策の内容	地域の安全性の強化						
	目的	道路安全灯や道路反射鏡等を設置することで交通事故の防止を図る。		主たる内容	道路安全灯の設置 道路反射鏡の設置 交差点点滅鈺の設置 道路案内標識の設置				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		(道路安全灯整備事業) 道路安全灯設置 2基 (道路反射鏡整備事業) 道路反射鏡設置 26基 (交差点等点滅鈺整備事業) 点滅鈺の設置 なし		(道路安全灯整備事業) 道路安全灯設置 2基 (道路反射鏡整備事業) 道路反射鏡設置 31基 (交差点等点滅鈺整備事業) 点滅鈺の設置 2基		道路安全灯設置 1基 道路反射鏡設置 25基 点滅鈺の設置 なし		道路安全灯設置 10基 道路反射鏡設置 40基 点滅鈺の設置 2基	
成果 (できたこと)		地区要望をうけて現場調査を行い、道路安全灯や道路反射鏡など交通安全施設を設置することで、道路における交通事故防止対策を図ることができた。							
課題 (できなかったこと)		施設設置後において交通事故発生件数調査等の効果測定の実施を検討し、道路安全灯や道路反射鏡など交通安全施設の効果を検証する。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動 指標	交差点付近等の人身事故発生件数(件)		693	636	522	500	400		
指標									
他市との 比較検証	交差点付近等の人身事故発生件数(件)(平成24年中) 碧南警察署管内(碧南市・高浜市) 347件 岡崎警察署管内(岡崎市・幸田町) 1,266件 安城警察署管内(安城市・知立市) 836件 豊田警察署管内(豊田市) 1,369件 西尾警察署管内(西尾市) 449件								
C 事業コスト	単位:千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳		
	事業費①		0	0	4,854	4,580	合計		4,853,625円
	財 源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費		4,853,625円
		一般財源	0	0	4,854	4,580			
	職員人件費②		0	0	1,768	3,685			
	総事業費(①+②)		0	0	6,622	8,265			
建設 事業	全体事業費(単位:千円)		0		24年度特定財源名称				
	24年度迄の累積事業費		0						
	26年度以降の事業費見込		0						